

(別紙4(2))

事業所名 プルミエールさなげ

目標達成計画

作成日: 令和6年4月1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	新型コロナウイルス感染症が5類となりコロナ禍で中止となっていた外出や季節のおやつ作り、食事作りなどを徐々に再開している。昨年はホーム全体での外出を行った。今年度は、全体でのドライブなどの外出や個別の外出、老健施設の活用などに目を向け、ホーム外での活動を通して生活の活性化に繋がるように支援していく。	外出の機会(グループホーム外での活動を含む)を提供し、入居者様が楽しみ喜びを感じる場面を増やすことで、生活の活性化に繋げる。	①個々の希望する外出先について、入居者様、ご家族と相談し、実現可能な外出目標を決定する。 ②ホーム全体の外出先等について、これまでの内容を参考に入居者様と相談し、年間計画を立案する。 ③外出が困難な時期の室内イベントの具体的な内容を検討する。外出が困難(または好まない)な入居者については、他の支援内容(敷地内の散歩・個別の活動など)を検討する。 ④季節の花のスポットなど地域の情報収集を行う。	1か月
				⑤日用品の買い物など、年間計画にない外出については、その日の職員が状況を見ながら支援していく。 ⑥週1回のケアカンファレンスで実施状況について話し合い、個々の外出状況を把握し、検討する。 ⑦外出の様子を、家族の面会時に報告していく。全体での外出についてはボードに貼った写真を活用して伝えていく。 ⑧家族との外出について、可能な範囲で協力を求める。 ⑨運営推進会議で外出の様子を報告し、助言等を得る。また、新たな外出先等の情報を得る。	3ヶ月
				⑩外出状況を確認し、必要に応じて計画を変更する。	6ヶ月
				⑪一年間の取り組みを評価し、次回の目標について検討していく。好評だったものは継続して取り入れていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。